



あいかわ 議会だより

第 148 号

責任者 議会議長 小島 総一郎
年 4 回発行・本号14ページ

選挙管理委員 4 人・同補充員 4 人が当選

P12

一般質問 新議員 3 人を含め、12 人が町政を問う

P5

2 件の陳情を採択・3 件の意見書提出を可決

P3

※町議会では議会だよりで使用する写真を募集しています。詳細は、4 ページをご覧ください。

平成28年2月15日〈12月第4回定例会・1月第1回臨時会〉

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成27年第4回愛川町議会「12月定例会」は、12月1日から会期14日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例の一部改正や補正予算など、9件の町長提出議案について審議し、全議案を可決しました。また、提出された陳情5件の審議を行うとともに、意見書の提出に係る議員提出議案3件を原案のとおり可決しました。

平成28年1月14日には、第1回臨時会が開催され、任期満了に伴う選挙管理委員・同補充員の選挙が実施されました。



平成27年第4回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
12	1	火	本会議	町長提出議案の説明
			総務建設常任委員会	所管事務調査
	3	木	本会議	一般質問（6人）
	4	金	本会議	一般質問（6人）
	8	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査、所管事務調査
11	金	本会議	提出議案の総括質疑討論・採決、付託案件の審査報告質疑・討論・採決、議員提出議案の説明質疑・討論・採決	

平成28年第1回臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
1	14	木	本会議	選挙管理委員・同補充員の選挙

条例関係

◎愛川町税条例の一部改正
（賛成全員）
「地方税法」の一部改正により、町税の猶予制度の手続きを条例で定めるとともに、固定資産税の税額の特例及び軽自動車税の特例税率の追加等を規定するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、平成28年4月1日

◎愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
（賛成全員）
被用者年金制度の一元化に伴う「地方公務員災害補償法施行令」の一部改正により、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、公布の日

◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
（賛成全員）
被用者年金制度の一元化に伴う「非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令」の一部改正により、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、公布の日

◎愛川町火災予防条例の一部改正
（賛成全員）
防火対象物の利用者自らが利用する施設の危険性に関する情報を入手できるようにする

◎愛川町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部改正
（賛成全員）
「職業能力開発促進法」の一部改正により、同法に新たな条文が追加されたことに伴い、条例で引用している条項に所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は、公布の日

補正予算

◎平成27年度一般会計補正予算（第2号）
（賛成全員）
歳入歳出のそれぞれに5千267万9千円を追加し、一般会計の総額を118億4千413万9千円としたものです。

主な内容は、半原と厚木バスセンターを結び、国道412号バイパスを経由する路線を新たに運行するための経費のほか、人工透析の利用者などが増えたことによる医療給付費の増額、愛川北部病院に対する利子補給金、健康プラザ内に住民自らが健康状態をチェックできる「健康状態見える化コーナー」を設置するための経費などです。

◎平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
◎平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
◎平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）
（以上、賛成全員）

人事関係

◎人権擁護委員候補者の推薦
（賛成全員）
任期満了に伴い、引き続き次の方を適任と認めました。

愛川町田代在任
伊 從 正 博 氏

議会審議状況をライブ・録画中継

町議会では、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っております。

視聴方法は、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

なお、録画中継の視聴可能期間は、ライブ中継終了後、概ね3日後から約3年間となります。

【ホームページアドレス】
http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly/in dex.html

請願・陳情のゆくえ

件名	結論	陳情者
国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨了承	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利
神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨了承	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館4階 神奈川私学助成をすすめる会 代表 長谷川 正利
手話言語法制定を要望する意見書の提出を求める陳情書	採択	神奈川県藤沢市藤沢933-2 神奈川県聴覚障害者福祉センター内 公益社団法人 神奈川県聴覚障害者協会 理事長 渡邊 千城
安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員について国への意見書提出を求める陳情	一部採択	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 土谷 正明
介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現について国への意見書提出を求める陳情	趣旨了承	横浜市中区桜木町3-9 横浜平和と労働会館3階 神奈川県医療労働組合 執行委員長 土谷 正明
「『安全保障関連法』の廃棄と再検討を求める意見書」の提出を求める陳情	机上配付	愛甲郡愛川町中津841-3 伊部 康雄

◎活火山防災対策の強化を求める意見書の提出

(賛成全員)

箱根町では、噴火警戒レベルが引き上げられた後、観光関連産業等に長期的な経済損失が生じ、火山対策についても、より迅速な対応を図る必要があることから、箱根町議会から意見書の提出を求める依頼がありました。町議会としては、箱根町の現状を勘案し、議員提出議案として意見書の提出を上程し、全会一致で賛成、可決されました。

◎「手話言語法（仮称）」制定を要望する意見書の提出

◎安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善を求める意見書の提出

(賛成13人、反対2人)

(賛成13人、反対2人)

国へ意見書3件を提出

※意見書の内容は、要望項目のみ掲載しています。

活火山防災対策の強化を求める意見書

- 国民の生命と財産をより確実に守り、風評被害を防ぐ観点からも、火山活動の状況に関する情報提供は、迅速かつ、住民や一般の方々にも分かりやすく発信する必要がある。そのため、国は火山活動に何らかの変化があった場合には、随時、地元の関係機関にその旨を確実に伝え、火山活動の評価を行い、その結果に応じて警報や予報を発表又は更新するとともに、国民が過不足なく適切に理解できるようにし、災害発生後においては、情報提供等を迅速かつ的確に行う体制を強化すること。
- 特措法改正により事前防災の強化を推進する一方、保守的な予防措置に伴う住民生活や事業者・農林水産業者等が被る経済損失拡大への考慮はなされていない。既存法による金融支援（セーフティネット貸付等）や雇用支援（雇用調整助成金等）のみでの対応では支援策として不十分であり、風評によって長期的な打撃を被る観光関連産業等については根本的な支援策がないのが現状である。確度高く災害発生を予測しうる火山防災、世界最大の火山災害発生リスクを抱える我が国の特性を踏まえ、警戒区域の設定等、国による私権制限に伴い生ずる損害に一定の補償をすること。
- 活火山噴火対策に関連する法律は、災害対策基本法をはじめ、災害予防、災害応急対応、災害復旧・復興に関する様々な法律・制度があり、所管する省庁も多岐にわたっているため、市町村の業務が煩雑になり対応が遅れる一因となっている。国として、市町村が迅速に対応できるように、関係法律・制度の内容や実施すべき事項、住民・事業所等に対する経済的支援のあり方などがすぐに把握できるように、一元化したマニュアルを作成すること。

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・国土交通大臣・内閣府特命大臣 殿

「手話言語法（仮称）」制定を要望する意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

内閣総理大臣 殿

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善を求める意見書

看護師など「夜勤交代制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上」とし、労働環境を改善すること。

内閣総理大臣・財務大臣・厚生労働大臣 殿

会派 議決一覽表(平成27年第4回定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 小倉議員 馬場議員 山中議員 熊坂弘久議員	公明 (3人) 井出議員 佐藤りえ議員 岸上議員	みらい絆 (3人) 熊坂崇徳議員 小島議員 木下議員	共産 (3人) 小林議員 井上議員 鈴木議員	新風あいかわ (3人) 渡辺議員 佐藤茂議員 阿部議員	議決結果
議員提出第8号	活火山防災対策の強化を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	可決
議員提出第9号	「手話言語法(仮称)」制定を要望する意見書の提出について	○	○	○	○	○	可決
議員提出第10号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善を求める意見書の提出について	○	○	●	○	○	可決
町長提出第51号	愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第52号	愛川町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第53号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第54号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第55号	愛川町保育の必要性の認定に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	可決
町長提出第56号	平成27年度愛川町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第57号	平成27年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第58号	平成27年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
町長提出第59号	平成27年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
陳情第8号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情第9号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情第10号	手話言語法制定を要望する意見書の提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	採択
陳情第11号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員について国への意見書提出を求める陳情	○	○	●	○	○	一部採択
陳情第12号	介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現について国への意見書提出を求める陳情	○	○	○	●	○	趣旨了承

※陳情第8号、第9号、第12号は、委員長報告「趣旨了承」に対する賛否です。

議会だよりの写真を募集

愛川町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙や紙面に掲載する写真を募集しています。

【電子メールアドレス】
shikai@town.aikawakana
gawa.jp
〒243-00392

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

【郵便送付先住所】
愛川町角田251-1
愛川町役場議会事務局宛
【注意事項】
・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

■応募資格 町内在住または在勤の方

・応募作品は、原則として返却しません。

■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。

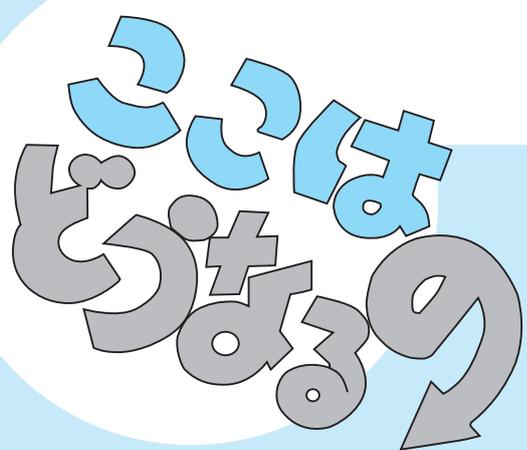
・編集委員会で協議した結果、応募作品を掲載できない場合があります。

・データの場合は、jpg形式で、データ容量は2メガ以上5メガ以下
・プリントの場合は、2Lサイズ以上

・編集上、写真をトリミングする場合があります。
・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品の名前、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。掲載を希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。
・採用者への謝礼はありません。



一般質問

地域まちづくり委員会の設置



井上 博明議員

問

平成26年6月議会において、住民主体の「地域まちづくり委員会」の設置を提案しましたが、改めて町長の考えを伺います。

愛川にふさわしい町づくりに繋げる

町長 愛川町にふさわしい「地域まちづくり委員会」を設置し、住民皆さんが自立した、また、主体性を持った、より良い町づくりに繋げていきたいと考えています。

半原中細野の町道沢等の安全対策

問

半原字中細野596番地先の町道は、大雨が降ると砂利等押し流して住宅の玄関まで流れ、沢沿いが崩落するなど大変危険ですが、安全対策について伺います。

雨水の分散化を図る

パトロールも強化

町長 今後は、沢側へ雨水を流出させない措置を講ずることに加え、上流からの雨水を集中させず、分散化を図る対策を検討してまいります。



中細野の砂利流出

深沢は、土砂災害警戒区域に指定されていることから、引き続き、台風や豪雨等の際にはパトロールを強化します。

新教育長の抱負 今後の方向性



山中 正樹議員

問

新教育長として教育を今後どのような方向に導くつもりか、抱負を伺います。

生きる力を推進 考える楽しさ実感

教育長 これまで以上に町長部局と連携し、教育行政の推進に全力で取り組んでまいり所存です。基本的な考え方の1つ目として、児童・生徒の生きる力を推進し、2つ目として、子供たちが個性豊かに学び、考える楽しさを実感できる学校にしたいと考えています。

プレミアム付商品券事業

問

プレミアム付商品券の利用期限が過ぎた現段階で、事業の推移について見解を伺います。

消費の誘発が重要 独自性ある取組み

町長 町では過去3回、先着順による商品券発行事業を実施した経過があり、今回も同様の手法により89箇所の店舗で販売を行い、10月末時点における換金状況は、1億1

千50万円余り、92.1%です。

環境経済部長 本事業は、地元消費の拡大と地域経済の活性化に資することを目的とし、高額な商品あるいは、多品目の購入など、新たな消費の誘発効果を引き出すことが重要と認識しています。

町長 様々な課題が出てきますが、主体性、独自性のある取り組みをしていきたいと考えています。



質問に答える佐藤新教育長



高校等の通学助成 増額する考え

渡辺 基議員

問 高等学校等の通学経費の一部助成事業を増額する考えについて伺います。

実態に応じた額 新年度予算に反映

町長 バス通学は、これまでの一律の助成額ではなく、生徒の通学実態に応じた額とすることや、自転車通学にあっても購入実績を踏まえ、より良い方策がないかを現在模索しているところであり、出来る限り、新年度予算に反映させていきたいと考えています。

病児保育導入について

問 病児保育は、仕事中の親に代わって日中の看護保育を行うものですが、導入の考えについて伺います。

様々な問題あり 提言は受止める

町長 病児保育の実施には、保育士や看護師の配置に加え、専用の看護スペースや医療備品類を確保しなければならぬなど、様々な問題があることから、導入についてはご提言として受け止めてさせていただきます。



町内唯一の県立愛川高校



歩道整備の要望 水路の暗渠化は

小倉 英嗣議員

問 転落事故が発生した水路を暗渠化して、歩道整備を望む要望書を地元町内会が提出していますが、実現に向けて検討されたのか伺います。

転落防止柵で対応 再要望あれば検討

町長 田代坂下バス停先からカナガワ物流センターまでの用水路については、当時、合意形成が図られなかったことから、転落防止柵を設置して対応しました。改めて田代区から要望があれば検討したいと考えています。



暗渠化を要望している用水路

林経由路線バスの進捗状況

問 8年前から要請している半原発林経由本厚木行き路線バスの進捗状況と、実現に向けた神奈中との協議内容について伺います。

神奈中と協議の結果 本年2月に実証運行

町長 町で実施したアン

ケート調査結果などを踏まえ、神奈中と協議を重ねた結果、平成28年2月下旬に実証運行がスタートすることになりました。企画政策課長 具体的には、半原発の朝2便と厚木バスセンター発の夜2便、1日4便で試験的に運行するとお聞きしています。

最近では、食料の備蓄方法のひとつとして、計画的に消費し、食べた分を補充するローリングストック法による備蓄が推奨されています。

町長 消防庁の推奨では、食料品や飲料水をはじめ、ヘルメットや毛布など20品目で、特に食料は、7日以上の備蓄が望ましいとされています。

消防庁推奨20品目 食料は7日分以上

問 大規模災害に備え、最低限必要な備蓄品の内容を伺います。

大規模災害の備え 各戸の備蓄品内容



木下 眞樹子議員



町農林まつりの様子

町長 町が主催する各種イベントは、活気と潤いを与える有効なツールであり、費用対効果のバランスを考え、実施しています。

廃止等見直し実施 今後横断的に検討

問 町で行う各種イベントを統廃合し、見直す考えを伺います。

町長 これまで、畜産のつどいや畜産共進会を廃止したほか、福祉体育大会と町民みなふれあい体育大会を交互に隔年開催へ改めるなど、見直しを図っているところです。

各種イベントの統廃合

町長 医療費無料化には新たな財源を確保する必要があります。

町長 医療費無料化には新たな財源を確保する必要があります。

新たな財源が必要 現段階では困難

問 75歳以上の医療費無料化を実現して安心して医療にかかれるようにするべきですが、町長の考えを伺います。

高齢者の医療費 無料化を要請



鈴木 信一議員

町長 交差点内の路面標示については、厚木土木事務所長に要望したところ、厚木警察署との協議

問 桜台五差路の交差点内に進路方向などを示す路面標示と、歩行者用信号を先行して点灯させる考えを伺います。

桜台五差路の交通安全対策

町長 桜台五差路の交差点内に進路方向などを示す路面標示と、歩行者用信号を先行して点灯させる考えを伺います。



高峰老人福祉センターにおける健康づくり

町長 交差点内の路面標示については、厚木土木事務所長に要望したところ、厚木警察署との協議が整い次第、対応することです。

関係機関と連携 事故防止に努める

町長 交差点内の路面標示については、厚木土木事務所長に要望したところ、厚木警察署との協議が整い次第、対応することです。



志田処分場脇道路 通行止めの周知

小林 敬子議員

問 志田峠残土処分場脇の道路は、相模原市境まで行かないと通行止めになっていて、通行が分かりません。町はどう周知をしたのか伺います。

相模原市から報告 三増区長等へ周知

町長 この通行止めは、建設業者が相模原市の自費工事許可を得て、道路の拡幅工事を実施しているものです。

相模原市から本町へ報告があった後、速やかに三増区長などに通行止めの周知を行いました。

総合的な空き家対策

問 空き家を管理・解体・活用する総合的な空き家対策を実施すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

特措法に基づき 解体や活用を促進

町長 町内全域を対象とした現地調査で192棟の空き家を確認し、空き家バンクの登録に問題がない63棟に制度の案内を

したところ、5棟が登録されました。
一方、改善指導が必要な空き家18棟には、改善を求める通知を送付するとともに、近隣在住者へは直接訪問し、改善指導をしたところです。
来年度以降は、空き家対策特別措置法に基づいて詳細な実態調査を行い、空き家の解体や活用を促進するための施策に取り組んでまいります。



町空き家バンク制度に登録された物件の一部
(詳細は町ホームページに掲載)



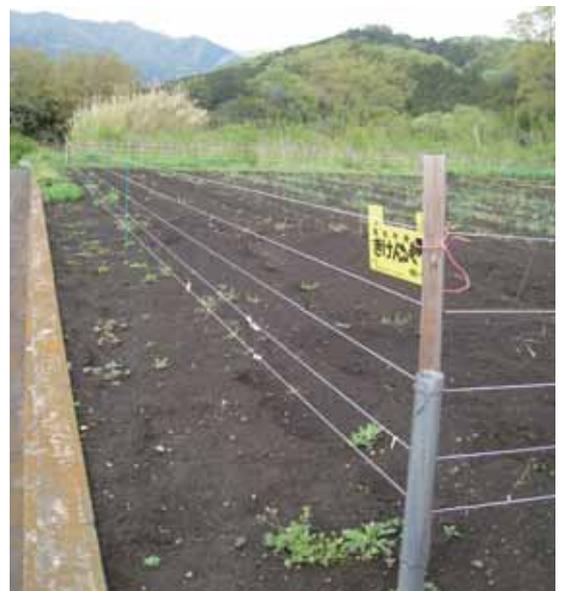
防犯に対する 町の取り組み状況

佐藤 茂議員

問 町の防犯に対する取り組み状況を伺います。

関係機関と連携 防犯灯LED型へ

町長 防犯指導員や厚木警察署と連携しながら、防犯パトロールの強化と防犯キャンペーンを実施するとともに、町内13箇所への防犯カメラの設置や、4千700基の防犯灯を一齐にLED型へ交換するなど、犯罪の起こりにくい環境づくりに鋭意取り組んでいます。



助成対象の簡易電気柵 (三増地内)

鳥獣問題の現状と対策

問 中津川左岸でイノシシなどが目撃されるなどの報告を受けていますが、鳥獣問題の現状把握と今後の対策を伺います。

生活環境を守る上で、大きな課題です。

町では、これまで被害防止策として、広域獣害防止電気柵の設置や地元猟友会による管理捕獲のほか、簡易電気柵の設置に対する助成など、様々な対策を講じています。

町長 有害鳥獣被害は、農業の振興や地域住民の本格的な捕獲開始
本年度からは、新たに有害鳥獣対策実施隊を組織し、本格的な捕獲をスタートさせたとです。

町長 まず半原から厚木バスセンター行きの実証運行を軌道に乗せ、その後、本格運行へ移行するという実績をあげた上で、海老名、相模原方面への急行バスの研究にもつなげていきたいと考えています。

実証運行軌道乗せ 実績のうえで研究

問 半原発厚木バスセンター行き急行バスは、2月に実証運行が予定されていますが、海老名、相模原方面への急行バスの計画を伺います。

海老名・相模原方面 急行バスの計画



阿部 隆之議員



放課後児童クラブ（中津第二小学校）

放課後学習の取り組み

問 小中学生の学力向上には、放課後を有効に使うことが重要ですが、町で取り組んでいる放課後の事業における学習について伺います。

施していません。

教育長 放課後児童クラブとかわせみ広場では、学習指導や学習支援は実

指導・支援を含め 見直しの検討必要

町かわせみ広場について、文化活動や学習支援を含めたプログラムの見直しを検討していく必要があると認識しています。

しかし、国が策定した放課後子ども総合プランの中では、学習支援や多様な体験、活動を行うことができる放課後子供教室の計画的な整備を挙げており、これに相当する

文化・芸術教育 教育長の考え



佐藤 りえ議員

問 文化芸術は、心の栄養といえるものですが、文化芸術教育について教育長の考えを伺います。

豊かな心を育てる 活動は重要と認識

教育長 学校教育において、歴史・伝統・文化に対する理解を深め、子どもたちの豊かな心を育てるために、文化芸術に親しみ、自ら活動することは大変重要であると認識しています。

「認知症サポーター」 小中学生の育成

問 認知症サポーターの養成を小中学生から育成する考えについて伺います。

活動に協力し、学校との連携やネットワークの構築を図る目的で福祉教育連絡協議会を開催しております。

学校で福祉教育 副読本で情報提供

町長 社会福祉協議会では、小中学校における車いす体験などの福祉教育

こうした場を通じて小中学生を対象とした認知症サポーター養成講座の副読本を活用しながら情報の提供を図っていきたく考えています。



町の伝統・文化などを広く周知（郷土資料館）



防犯カメラの設置 今後の安全対策

岸上 敦子議員

問 防犯カメラの設置状況や今後の安全対策への取り組みについて伺います。

通学路に重点置く 警察と連携し増設

町長 町では現在、13基の防犯カメラが稼働し、このうち11基を通学路に設置しています。

通学路の安全確保に重点を置き、順次、防犯カメラを設置していますが、今後も厚木警察署などと連携を図りながら、防犯カメラの増設に鋭意努力したいと考えています。



通学路に設置された防犯カメラ（半原地内）

循環バスのルート再検討

問 町の活力の維持には利便性の高い交通手段の検討が必要ですが、循環バスのルート再検討について考えを伺います。

利用状況は順調 委員会の意見聞く

町長 町民アンケートや町公共交通検討委員会からの答申を踏まえ、平成20年にルートや運行回数

などの全面的な見直しを行いました。

その後、利用状況も順調に推移していることから、現在ルート変更の検討は考えておりませんが、町の人口構造も変わります。

今後、再検討が必要となったときには、公共交通検討委員会のご意見もお聞きしながら、検討したいと考えています。



企業誘致・雇用対策 業種と雇用の把握

熊坂 崇徳議員

問 企業誘致と雇用対策として、内陸工業団地に進出してくる企業の業種と雇用の把握について伺います。

製造物流5社進出 千八百人を雇用

町長 内陸工業団地への企業の進出状況については、製造事業者2社と物流事業者3社が進出し、新たに1千800人の雇用が創出されています。なお、現在、同団地では未利用地がない状況で、新たな企業の進出予定は伺っておりません。



内陸工業団地に進出する企業

学力を身につける施策

問 10月に新教育長が就任されましたが、本町の学校教育における学力向上の取り組みと学力を身につけるための施策について伺います。

学習の意欲を養う 小中の連携推進

教育長 基礎的、基本的な知識、技能の習得とともに、思考力、判断力、

表現力の育成と学習の取り組み意欲を養うことが重要とされています。

教育次長 さらなる学力向上のため、小中学校の連携をより一層推進し、9年間を見通したカリキュラム構成や基本的な生活習慣の確立、家庭学習の習慣化など、家庭教育との連携も推進していきたいと考えています。

個人総括質疑

12月11日の本会議では、6名の議員が個人総括質疑を行いましたので、内容の一部を紹介します。

馬場 司 議員

問 一般会計補正予算の交通施策推進事業費増額の内容について

答 通勤通学時間帯における路線バスの速達性、定時性の向上を図るため、半原発野外センター経由厚木バスセンタ

ー行きの一部を、平成28年2月下旬から国道412号林経由に組み替え、実証運行を行うための経費です。

内容は、系統表示や時刻表の変更、路線図や運賃表の作成、車内放送や行き先表示データの變更に係る経費



健康状態見える化コーナーが設置される健康プラザ

など、計207万円です。

問 一般会計補正予算の健康教育事業費増額の詳細について

答 二次保健医療圏内の5市1町1村が連携し、地方創生先行型交付金を活用して、保健センターなどに「健康状態見える化コーナー」を設置するための経費です。

本町では健康プラザに設置予定で、測定機器のほか、デスクや案内板などの購入費として500万円を計上したものです。

町民との意見交換会

町議会では、議会基本条例に基づき、「広く町民の声を聴く議会」「町民とともに歩む議会」「町民参加を基本とする開かれた議会」を目指し、町民と議会との意見交換会を次の日程で開催しますので、是非ご参加ください。

意見交換会のテーマは現在、議会運営委員会を中心に検討しています。

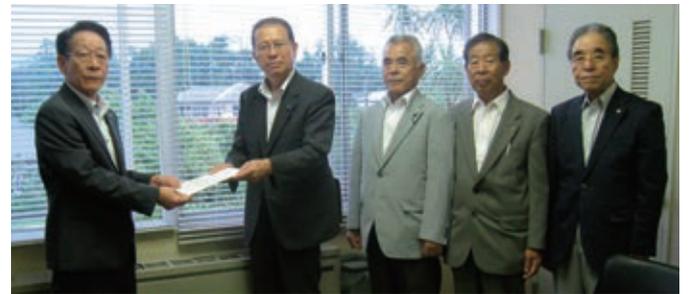
日時及び場所

5月14日(土)
午後7時から
文化会館(3階会議室)



※平成27年度実施の様子

いただいたご意見・ご要望への対応状況



町議会では、昨年5月に実施した意見交換会におけるご意見・ご要望を精査したうえで、議会として検討すべき項目として3項目を選定し、協議検討を行いましたので、結果を報告します。

また、町へ申し入れを行うべき協議結果については、平成27年7月8日(水)に小野澤町長へ申し入れ書を提出しました。

なお、申し入れ書は、町議会ホームページにも掲載しています。

No.	いただいたご意見、ご要望等	議会において検討すべき内容	今後の方向性、検討結果等
1	(小田急多摩線延伸にかかる) 予算などの計画を立ててほしいと思います。	答申の結果を踏まえ、具体的な計画を早期に立てるよう国に要望すること。	多くの町民の願いでもあることから、早期の実現を目指し、今後の取り組み方針等について、関係団体と協議をしながら延伸へ向けての要望活動を継続する。
2	(小田急多摩線の延伸促進は) 具体的にはどういう要望をしているのか。用地の買収や駅の整備、沿線の開発など具体的な部分をぶつけなければ、企業は採算が合わないところには来ません。具体的な活動等をしていけば、お答え願いたい。	議会だよりで要望活動の内容を周知すること。	議会だよりにより、要望先や具体的な活動内容を掲載することで周知に努める。
3	投票率は、住民にも責任があるわけですが、議会や行政の対応が十分でないところも思っています。議会として今後どういう対応をするのか、町行政にどういう要望をしていくのかを伺いたい。	議会への関心を高める取り組みを検討すること。	有権者の議会・政治への意識向上及び投票のしやすい環境づくりについて、選挙管理委員会と連携を図り、協議・検討をしながら投票率の向上に努める。

選挙管理委員4人・同補充員4人が当選

選挙管理委員及び同補充員は、地方自治法の規定により、議会において選挙するとされており、1月14日に開催された第1回臨時会において、人格が高潔で政治及び選挙に関し公正な識見を有する次の方々が当選されました。

なお、同月29日の選挙管理委員会において、委員長及び職務代理者が決定されました。

◎委員長○職務代理者
(敬称略)

選挙管理委員

◎高橋 洋介 氏

○村 中 修 氏

花 上 政 樹 氏

神 寄 孝 雄 氏

同補充員

佐 藤 憲 司 氏

市 川 幸 子 氏

平 本 久 美 子 氏

熊 坂 祐 二 氏



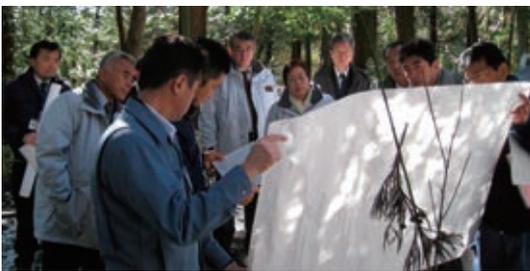
前列：選挙管理委員 左から 神寄孝雄、村中修、高橋洋介、花上政樹
後列：同補充員 左から 熊坂祐二、市川幸子、佐藤憲司、平本久美子 (敬称略)

常任委員会1月所管事務調査

地方分権の進展に伴い、行政が行う事務が専門化かつ複雑化しているなか、各常任委員会が所管する事務事業について調査するため、次のとおり所管事務調査を実施しました。

総務建設常任委員会

1月19日(火)に、農地法第5条関係や地域水源林整備箇所、キエー口実証実験などの現地調査を行うとともに、農地転用の説明を受けました。



南山の町有林管理事業を調査



ごみ減量化キエー口実証実験を調査

教育民生常任委員会

1月26日(火)に、就労継続支援A型事業所「このわ」やありんこ作業所、田代小学校のALT

授業などの現地調査を行うとともに、教育委員会点検・評価報告書や第6期介護保険事業計画の説明を受けました。



田代小学校のALT授業を調査

傍聴者アンケートの結果

議会だより・議会に関する

- 平成27年に開催した4回の議会定例会を傍聴された方々に「議会だより」についてアンケートをお願いし、延べ47人の方から貴重なご意見をいただきました。
- 今後、アンケート結果をもとに「議会だより」の内容や紙面などを改善し、さらに町民の方に親しまれる広報として充実を図っていきます。
- 議会だよりを読んだことがありませんか
- ①毎回読んでいる 39人
 - ②時々読んでいる 7人
 - ③読まない 1人
- 主にどの記事を読んでいますか
- ※複数回答あり
- ①可決議案の内容 27人
 - ②一般質問 39人
 - ③会派代表質問・質疑 28人
 - ④会派議決一覧表 12人
- ⑤総括質疑 18人
- ⑥意見書・要望書の提出 20人
- ⑦政務活動費収支 8人
- ⑧討論 7人
- ⑨傍聴者アンケートの結果 7人
- ⑩次回定例会の日程 5人
- ⑪町民の声 27人
- ⑫インターネット中継の案内 3人
- 紙面のレイアウト（構成）について
- ①読みやすい 13人
 - ②普通 33人
 - ③読みづらい 0人
- 取り上げてほしい記事や企画、その他の意見
- ・人口減少について、記事の常設をしてほしい。
 - ・録音ボランティアで視覚障害者用に議会だよりを読んでいるが、伝わりにくい文章がある。
 - ・高齢者の年金と収入の関係や生活状況の向上策など
- について掲載してほしい。
- ・要望してもその後の処理について回答がある議員とない議員がいる。
- ・表紙写真は町内の季節感のあるもので、質のよいものにしてほしい。
- ・高齢社会には安い住宅が必要と考えるので、町営住宅の今後について掲載してほしい。
- ・人口減少について町民の意見を聞き入れる企画をしてほしい。
- ・臭いものに蓋をするのでは問題の先送りになってしまう。
- ・企業、住民の転出で内陸工業団地に働く就業者が変化し、春日台、桜台団地の地域コミュニティの弱体化が顕著である。
- ・陳情の内容、質疑、出した意見などを掲載してほしい。

議員研修会

○神奈川県町議会議員研修会

平成27年11月20日（金）に二宮町生涯学習センターにおいて、神奈川県町村議会議長会主催による町村議会議員研修会が次のとおり開催されました。

講師
東京大学大学院薬学系研究科教授
池谷 裕二氏



○愛甲郡町村議会議員研修会

平成28年2月1日（月）に愛川町役場会議室において、郡町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師
明治大学政治経済学部教授
牛山 久仁彦氏



研修テーマ
「地方創生と自治体議会の役割」

友好都市立科町議会と交流

平成27年11月17日（火）に友好都市である立科町議会が本町を訪れ、議会改革や人口減少問題、観光事業等について意見交換を行うとともに、交流会を実施しました。



町民の声

「介護現場の実情」



近藤 豪さん

(田代在住)

愛川町田代の環境に魅せられ、引っ越して来て13年目になりますが、すばらしい環境と地域皆さんの優しい支えを沢山のいただき、共働きしながら日々3人の子供たちを懸命に育てています。また、PTA、子ども会、育成会活動へも参加させていたいただき、地域の温かさにも感謝しております。

者の方々と向き合いながら介護の現場で仕事をしていますが、超高齢化の影響もあって、新聞やニュースでは介護福祉業界の現状や問題を頻繁に取り上げています。しかし、「人手不足による事故発生率の上昇」や「夜勤時の人員削減による負担増」、「生命にかかわる責任問題による高ストレスと低給与」等の問題は、依然として解決し

ていません。その上、福祉・介護を語りながらもその実情をご存じない方々がいることに無念さを感じることがあります。今後、町議会に期待することとしては、視察などで経営者や代表者の方と話をするだけではなく、実際に介護・福祉の現場に携わる方たちの「生の声」を吸い上げていただくような場をより多く持つていただくことです。

編集後記

新年に入ってから穏やかな日が続き、恒例の出初式や町一周駅伝競走大会も晴天の下、盛大に開催され、幸先のよい年となりました。今年の干支は申ですが、実が成熟して味と香りが備わる時期とされています。

町議会も新体制となつて2年目となります。町民皆様の声を町政に届け、より良いまちづくりを推進すること、地方創生の足音が実感できる年になるよう、より一層の努力をしております。

次回定例会

次回、3月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月19日(金)に開催予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成28年 第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
2	29	月	本会議 (施政方針・提出議案の説明)
3	1	火	本会議 (一般質問)
	2	水	本会議 (一般質問)
	7	月	本会議 (個人総括質疑)
	9	水	本会議 (会派代表質問)
	10	水	総務建設常任委員会、教育民生常任委員会
	11	金	総務建設常任委員会
	14	月	教育民生常任委員会
	16	水	総務建設常任委員会
	17	木	教育民生常任委員会
	18	金	総務建設常任委員会
25	金	本会議 (委員長報告・討論・採決)	

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

施設設置録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3799)

議会だより編集委員会

- 委員長 馬場 司
- 副委員長 熊坂 崇徳
- 委員 阿部 隆之
- 委員 岸上 敦子
- 委員 鈴木 信一
- 委員 山中 正樹